

第2部課程第171期 (平成26年10月7日～12月18日)

課 目 名	3-1 公共政策の基礎理論
時 限 数	4 時限
担 当 講 師	<p>東京工業大学名誉教授 宮嶋 勝 <プロフィール></p> <p>昭和45年3月 東京工業大学理工学研究科博士課程修了 (工学博士) 昭和45年4月 (株)構造計画研究所 研究員 昭和52年4月 東海大学工学部経営工学科助教授 昭和54年10月 東京工業大学工学部助教授 昭和61年12月 東京工業大学工学部教授 平成17年4月 東京工業大学名誉教授 平成17年4月 帝京大学経済学部教授 平成24年3月 帝京大学退官</p>
ね ら い	<p>地方分権の進展により、自治体職員の政策形成能力の向上や、地域の実情に応じた独創性豊かな取組が求められています。本講義では、自治体が直面する政策課題の解決を図る公共政策について、その基礎的な理論を理解することを狙いとしています。</p>
講 義 概 要	<p>この講義は大きな項目として4項目から構成されています。第1回の講義では、項目1と項目2を、第2回の講義では、項目3と項目4を講義します。</p> <p>第1の項目は、「公共政策の3つの視点」です。視点1は“行財政改革の視点”、視点2は“公平性の視点”、視点3は“住民との協働の視点”です。</p> <p>第2の項目は、「中堅職員の政策形成力の育成－3つの対応－」についてです。対応1は“必需性・画一性・量的充足から選択性・個別性・ソフト化への対応”、対応2は“明構造から漠構造への対応”、対応3は“法制度論から計画論への理論面での対応”です。そして、「計画論による政策形成」の概要を講義します。</p> <p>第3の項目は、計画論による政策形成の中核をなす「問題発掘的方法論 (別名工学的的方法論)」の概要を講義します。政策作りの原点は問題発掘にあるからです。</p> <p>第4の項目は、「政策形成能力の向上」に向けた具体的な進め方を、“その1”～“その4”に分けて講義します。“その1”は、“政策課題の明確化－情報力の強化－”です。“その2”は、“事業目標値の設定－立案力の強化－”です。“その3”は、“シナリオ方式に強く－立案力の強化－”です。“その4”は、“事業の評価値 (達成度) を持つ”です。</p>
受講上の注意	<p>現在、又は、今まで担当した仕事・事業を念頭に置いて講義を聴講して下さい。</p>

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・講義レジュメ：印刷物、及び、ファイルで配布します。 ・教科書：「公共政策の基礎」と「データを活用した政策形成（CD付き）」
効果測定	なし
その他 <small>(他の課目との関連)</small>	<p>教科書「データを活用した政策形成（CD付き）」に関連して、演習課題を提示します。演習への参加は自由ですが、成果物の提出が望ましいです。</p> <p>又、CDに入っている「eラーニング EXCEL」を教材として、希望者向けに夕方約1時間で「時間外講習」を実施します。参加は自由です。</p>